

至仏+燧=尾瀬!![編集する](#)

2013 年 05 月 15 日 00:47 [友人の友人まで公開](#)

15 view



基本的に日々体力の有り余っている O さんは、バドのプレーもすごいし、山にも何度か一緒に登ったこともある方ですが、しばらく会わないうちに...

すっかり冬山に目覚めていました👓

しかも、初めての冬山から単独だったらしい(笑)。もちろん、自発的に山岳講習会に参加したり、ここ 1 年で山の装備代には相当つぎ込んだりしているようなので、安全意识さえあれば大丈夫そう!?

そんな O さんとの、久々の山。

雪化粧した尾瀬に興味があったのと、それよりなにより、山頂から会津駒ヶ岳🌄が見えたらいいなあ、というのも目的です。ぐひひ👓

【2013.5.3】

前夜は沼田駅から徒歩 10 分の「沼田健康ランド」で仮眠。翌朝ここで O さんに拾ってもらい🚗 ちょうど 1 時間で戸倉に到着。

GW、戸倉～鳩待峠はマイカーが入れるものの、鳩待峠の駐車場が満車とのことで、結局は戸倉に駐車。
ここから乗合タクシーで(随時発車)、鳩待峠に向かいます(🚗戸倉～鳩待峠:¥900/人)

※ちなみに、鳩待峠までマイカーで入れたとしても、駐車料金が...

★鳩待峠:¥2,500/日

★戸倉:¥1,000/日

⇒恐るべし、尾瀬🎒



鳩待峠。

まずびっくりしたのは、スキーヤー&スノーボーダーの多さ!! 聞けば 3~4 時間かけて板を背負って至仏まで登り、20 分で滑走してくる山スキーを、3 日連続でやっている人もいるとか(→山小屋やテントで、連泊可能💡)。天然のゲレンデを滑っている姿は気持ちよさそうだけど...、なんだか 5 月の尾瀬のイメージが、一気に変わってしまった。(→でも若干羨ましいと思える、今の自分👦 HEBA さんや shifon さんにはおススメです👍)

さて、歩き始めは曇りだったが、地道に登り続けると、気がつけば...



視界なし...💧 完全にガスの中📉

トレースを信じるしかないときもあり...😓 それでも時折カラフルな色が目に飛び込んでくるので、前後に登
山客がいることは確実。それを追って前進あるのみ👊



小至仏。真っ白けっけ🤖



その後も、さすがは稜線上。風は強かったけど...

👀



至仙山! 🌤️ ここだけ大賑わいでした。

ここから山の鼻に下りる予定だったが、下り始めてからすぐに立ち止まる。トレースも不明で、何よりも視界が悪すぎる…。同じく山の鼻方面に向かいたい登山客とも話し合ったが、もと来た道を引き返し、鳩待峠経由で山の鼻に出ることが確実だと判断する。かなりの遠回りになるのが悔しいが、仕方ない 🤔

鳩待峠への戻り道では、小至仙を巻き、悪沢岳を下ったあたりで、ガスの下に抜ける。遠方の景色もだんだん見えてきたが、ここで、Oさんの発案 💡



ここから尾瀬ヶ原が見えるのだから、ここから鳩待峠に下りず、至仏山の斜面を尾瀬ヶ原方面へ突っ切れば、近道になるのではないかと。あるいは直接尾瀬ヶ原へ出れなくても、少しでも鳩待峠を巻く形になるのではと。おれはやや渋るが、でも確かに突っ切れば近くなるのは間違いない。ということで、



登山道から外れ、尾瀬ヶ原を目指して山の斜面を突っ切る。トレースのない斜面を歩くのは気持ちいいね
～🍷



そして今更ながら、見上げれば至仏山頂がはっきり見える。ってことは、あの山頂にあと1時間ねばってればここを下れたのかね～🤔 それにしてもここ、スキヤーのトレースがたくさん。大自然のゲレンデを自由気ままに滑っているのは、本当に楽しそう✨

しかし、

スキヤーのトレースは、みな鳩待峠の方についている。要は、この斜面にいる限りは、どんなに登山道か

ら離れたつもりでも、結局は鳩待峠に下ってしまう形状になっているのである。それでもおれらは、あくまで尾瀬ヶ原に向かおうと、斜面を登るか横歩きしてみるが、この移動がだんだん歩きにくくなり、時間がとられるだけであり...、結局はスキーヤーのように、鳩待峠方面に下ったのでありました...💧💧

下りきると、川上川に出るので(ここは一部雪解けしていた)、川沿いに左折。方角的に山の鼻方面に向かうと、ようやく鳩待峠～山の鼻を結ぶ登山道につながり、登山客の往来も盛んに。やはり、登山道はよくできているんだなと痛感😓

急がば回れか...💧💧?

ちなみに、鳩待峠～山の鼻の間で見ました、これ。



水芭蕉の芽🍀

尾瀬の春もすぐそこに✨✨

山の鼻には、テントがたくさん。ここからの尾瀬ヶ原は、水平な雪原だが、アイゼンのせいか足の裏がつぶされるような(!?), なんだか歩き疲れやすい場所でした...😓

そしてここに来て、



山の鼻からは見事な青空。

振り返れば



至仏山もまぶしいぞ...。悔しい...😓

で、この尾瀬ヶ原では太陽を背にして歩いていたのだが、雪原はやはり恐ろしかった...。この日、日焼け止めを塗らなかったおれの顔は、見事なまでにサングラス焼けしたのでありました...👓 (しかも後日、この顔で面接に臨んでます...😓)

また雪原上にトレースはついていて、一部、木道も見え隠れし始めていた。そのくらい雪解けは進んでいるので、たまに踏み抜いてしまうと



湿地帯に足を落としてしまうはめにもなったり…。でもそうこうしているうちに、本日の目的地、弥四郎小屋に無事に到着!! おつかれやまです🏠

8:15 鳩待峠

8:45-8:50 小休憩

10:05 小至仏山

10:40-10:50 至仏山

(ここから山の鼻に下るが、すぐに山頂に引き返す)

11:05-11:35 至仏山 (昼食)

12:10 悪沢岳分岐

(ここから登山道を離れて、尾瀬ヶ原方面に斜面を横歩き。)

12:25-12:40 休憩 (手袋を落として探す)

13:50 川上川 (→ここを左折し、やがて登山道に合流)

14:40-15:00 山の鼻

15:40 牛首

16:20-16:25 龍宮

16:50 弥四郎小屋

弥四郎小屋。小屋の人の対応が丁寧!! 個室も多く、



おれらは2人で6畳部屋を使わせてもらえた。しかもお風呂あり。さらに漫画や雑誌もあり、



いつの間にか、終わっていたんですね…。最終シリーズ(16-18巻)を、じっくり読んでしまった…。さんぽ一、ふぁんたーすていく!! ✨

【2013.5.4】



弥四郎小屋前から眺めた、至仏 🌄



今から目指す、燧 🌄

さて、



歩き始めはブナ林。



その後の樹林帯は、尾根と尾根の間を、ひたすら登る。森林限界を越えてくると



この辺りから、だんだん視界が悪くなって、いやな予感…。しかもトレースが、燧から離れていくように思えた場所があり、軌道修正。燧方面へと斜面を登ると、結果として、これが正解だった💡



登って...



登って...



山頂! でも視界が...



尾瀬ヶ原。晴れていれば至仏も見えたはずなのに…。



尾瀬沼もぼんやり見えまして…。

そして、

いちばん見たかったこちらは!!



会津駒ヶ岳方面のはずだけど、見えん...🌀 肝心な目的が...(おかしいなあ、晴れ男👇👇👇)

それと、



こちらは燧のもう一つの山頂、俎嵯方面。しかし、柴安嵯～俎嵯間のルートは一部急降下するため、この先は断念。再び登ってきたルートを、下山。

ってことで、仕方がない、いつかまた、会駒を見に来るべ!! 🍪

下山はさくさくとすすみ、弥四郎小屋で昼食。Oさんは山小屋のコーヒーを堪能🍵 そして再び昨日歩いた尾瀬ヶ原を山の鼻方面へと歩くのだが、ここにきて...



至仏方面。晴れ 🍪



燧方面。晴れ 🍪

うーん...。おかしい... 🍪

途中、空を見上げれば、こんなものも見ました!!



通りすがりの登山客の話によれば、空に湿気が多い時に見られる現象で、天気が崩れる可能性もあるとかないとか。でもきれいだったなあ✨

山の鼻では、



いただきましたっ!! 🍦 (というか、Oさんは何気にソフトクリームに目がない(笑))

花豆味とあったけど、あずきのような味ですね。花豆の原料は尾瀬界限で獲っているとのこと。美味!! 👍

そして、実はOさん、ここから再度至仏山に登る気満々だったのだが(天気のいい山頂が見たいからと)、しかし時間も13時を過ぎていたので、断念。安全第一ということで 🤔

なので、あとは鳩待峠に戻るだけで話が収まるかと思ったら、さすがはOさん。「だったら早く戻れる分、鳩待峠〜戸倉の林道を歩こう!」と言いだしたのでありました 🤔 「乗合タクシー代900円も節約できるし、たいへんだったら900円のありがたみもわかるだろ」とまあそんなノリ 🏃

まあ下りだからいいかな、と林道歩きにおれも同意。いざ鳩待峠まで戻ってからは、アイゼンをはずして、レインウェアも脱いで、900円のタクシー代が食堂内の温かいうどん代に変わったところで(→結局節約になってない 🏃)、レッツウォーク 🏃



その間何台も車は通り過ぎていくのだが、誰か拾ってくれないかな〜、なんて望みはまったく届かず…。(Oさんといえば、仮に拾ってもらえても断る気満々…。) でも道中Oさんとずっと話しながらだったので、あっという間な気もして、いい思い出となりました。(ちなみに車で25分の距離、歩いて2時間半かかったけど!! しかも日没に間に合わず、最後の最後でヘッドランプまで出したけど!! 🤔)

でも、思わぬ収穫がこれ💡



わかります？ズームアップすると



ニホンカモシカ。戸倉付近まで下りてきてからOさんが発見。全然動かなかったけど、癒されました〜💡

5:00 弥四郎小屋

5:35 休憩①

6:15-6:25 休憩②

7:15-7:20 休憩③

7:40 分岐

8:00-8:25 燧ヶ岳(柴安嶺)

10:15-11:30 弥四郎小屋 (昼食)

12:00 龍宮

12:35 牛首

13:15-13:40 山の鼻 (ソフトクリーム)

(ここで至仏山の登山口までを見に行き、再び戻る)

14:00-14:35 山の鼻 (昼寝 & 休息)

15:50-16:30 鳩待峠 (うどんで腹ごしらえ)

(ここから林道歩き)

19:10 戸倉

 温泉 昭和の湯 (昭和 IC 付近)

※戸倉からは車で 1 時間弱。

21 時までの営業なので、さくっとさっぱり。

帰りは、渋滞情報を見極めながら、サービスエリアで時間をつぶしたら、見事渋滞に引っかからず!! 車中もいろいろと話していたらあっという間で、しかも夜中なのに、O さんはおれのことを自宅まで送ってくれたのでありました。ありがとうございます m(._.)m

翌日は、足が棒になっていたけど、筋肉痛が思ったほどなかったのが収穫👏 (ちなみに O さんは、翌日は早速バドミントンに行っていた様子👍)

でもここ 1 ヶ月をいいペースで登っていたので、今シーズンは身体作りがうまくできそう!? (プー之助のなせる技!?) もちろん行きたい山はまだたくさんあるので、今年もがんばりましょう!!

